

京都府立大学学術報告 編集・投稿規定

1968. 6. 4
1991. 8. 29改正
1997. 7. 11改正
2000. 10. 10改正
2002. 10. 10改正

1 この規定は、京都府立大学学術報告の2部門に適用する。

京都府立大学学術報告 人文・社会

京都府立大学学術報告 人間環境学・農学

2 投稿の資格

(1) 本学の教職員

(2) 学術報告委員会が適当と認めた者

3 原稿の種類

学術報告に掲載する原稿は、原則として原著論文とし、その内容がそれぞれの学問分野の見地から興味があり、かつ有意義なものに限る。

4 投稿原稿の数

投稿は1人1篇を原則とする。

5 原稿の長さ

原稿の長さは部門ごとに決める。

6 原稿用紙

(1) 邦文論文、欧文論文とも、フロッピーディスクと、下表の規定により、A4判の用紙を用いて鮮明に打出した原稿を提出する。

(2) 邦文論文については、手書きの場合には所定様式の原稿用紙を使用する。

使用言語	邦 文			欧 文
編	人 文 ・ 社 会	人間環境学・農学	各 編 共 通	
組 み	縦 書 き	横 書 き		
本 文 組	1頁 1行31字×23行×2段 (1,426字詰)	1頁 1行43字×35行 (1,505字詰)	1頁 1行25字×50行×2段 (2,500字詰)	1頁 1行90字×50行 (4,500字詰)
手書き原稿 (所定様式) (を使用)	1枚 1行25字×16行 (400字詰) (3.6枚で本文約1頁分)	1枚 1行25字×16行 (400字詰) (3.8枚で本文約1頁分)	1枚 1行で24字×23行 (552字詰) (4.3枚で本文約1頁分)	/
パソコン・ ワープロ原稿	1枚 1行31字×23行 (713字詰) (2枚で本文1頁分)	1枚 1行43字×35行 (1,505字詰) (1枚で本文1頁分)	1枚 1行50字×25行 (1,250字詰) (2枚で本文1頁分)	1枚 1行90字×25行 (2,250字詰) (2枚で本文1頁分)

7 原稿の提出

論文の掲載を希望する部門を明記し、各所属の学術報告委員に提出する。

原稿締切日は毎年学術報告委員会が決める。

8 原稿の掲載

学術報告委員会は、予算の範囲内において原稿を採択し、登載順序を決める。採択した原稿についても、字句の修正等を求めることがある。

9 原稿作成上の留意点

(1) 標題および著者名

邦文の論文については欧文タイトルおよびフルネームを付ける。

(2) 要旨 (Synopsis)

人間環境学および農学の論文には要旨を付ける。その位置は、標題・著者名と本文との間とする。要旨の長さは、邦文400字、英文200語程度とする。

(3) 注

横書きの場合は脚注とする。

(4) 参考文献・引用文献における誌名省略法

各分野でもっとも一般的に用いられる方法による。

(5) 表、図、写真

図、写真の大きさについては、部門ごとに決める。

表、図は別紙に書く。また、可能な限りデジタルデータも提出する。

(6) 数、数式、単位

数は原則としてアラビア数字を用いる。

数式は誤解を生じない限り1行に入るように書く。

単位はJ I Sなどを参考とする。

10 受理年月日

論文は受理年月日を明記する。学術報告委員は、論文を受付けたとき、受理年月日を原稿に記入する。採択が確定した場合には、この日付をもって受理年月日とする。

11 校正

原則として3校で校了とする。

校正は著者校正とする。初校は3日以内、再校以後は2日以内に幹事まで返納しなければならない。著者不在の場合は、代理校正者を定めておかななければならない。

校正の際、内容、文章を訂正することはできない。

Note added in proof は論文の末尾におく。

12 別刷

別刷は1論文につき、原則として、人文・社会は30部、人間環境学・農学は50部を贈呈する。ただし、希望者は、人文・社会は50部まで、人間環境学・農学は100部まで贈呈することとし、必要部数を原稿に朱書する。

それ以上を必要とする場合は、実費を著者負担とする。

13 著作権

掲載された論文の著作権は著者に帰属する。

また、受理された論文は「京都府立大学学術報告」として出版するほか、電子化による利用に供することができる。

京都府立大学学術報告委員会—人間環境学・農学部門

委員長	小野秀生
委員	
(人間環境学部)	松原周信
(人間環境学部)	竹山清明
(人間環境学部)	山下博史
(農学研究科)	牛田一成
(農学研究科)	石川芳治
(農学研究科)	金本龍平

京都府立大学学術報告

人間環境学・農学 第54号

平成14年12月25日 印刷
平成14年12月25日 発行 【非売品】

編集兼発行者 京都府立大学学術報告委員会

発行所 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
京 都 府 立 大 学

印刷所 〒602-8042
京都市上京区下長者町通新町西入藪ノ内町79
奥田印刷株式会社
TEL(075)441-7060

All communications intended for this report should be addressed to the Editor of the Scientific Reports of Kyoto Prefectural University, Human Environment and Agriculture, Kyoto Prefectural University, Shimogamo, Kyoto, 606-8522, Japan